

Business Report



2024年4月1日 → 2025年3月31日

第65期 株主通信

株式会社ヤマザキ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私共は、今後も株主の皆様のご期待に応え、末永くご愛顧頂けます様、継続的かつ安定的な株主配当の維持、経営基盤の強化と企業価値向上に取り組んでまいります。

世界経済が、ウクライナ戦争、米中関係悪化、米国による関税政策の影響等により先行き不透明な状態が続く中、当社グループの主要顧客である輸送機器業界では、生産の回復傾向はみられるものの、設備投資においてはEV開発方針の逡巡などから、慎重な姿勢かつ“新設からレガシー資産の利用へ”の傾向が拡大しております。

一方“工場・生産現場内”においては「働き方改革」等による社会変化により人手不足が課題となりつつあります。

ヤマザキは、お客様が抱える様々な課題を解決すべく「生産活動に喜びをもたらす、プレミアムな技術のご提供」をミッションと考え、「お客様に寄り添い世界中で必要とされる企業」を目指してまいります。

更に、同業他社との連携や現有技術を用いた他業界への新規事業展開などにより、経営の安定と業容拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともヤマザキに一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

山崎 好和

事業報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善もあり、景気が緩やかな回復基調で推移する一方、原材料価格やエネルギー価格の高騰等による物価上昇や今後のアメリカの関税政策動向、為替変動による影響等、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、工作機械事業及び輸送用機器事業における販売は増加し、当連結会計年度における売上高は30億9千3百万円（前連結会計年度比24.0%増）となりました。

利益面につきましては、工作機械事業においては損失を計上したものの、輸送用機器事業においては従来の二輪自動車量産部品に加え、四輪自動車量産部品の販売増加による収益規模の拡大等により、営業利益は7千7百万円（前連結会計年度は営業損失9千7百万円）、経常利益は8千4百万円（前連結会計年度は経常損失8千6百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は5千7百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失3千3百万円）となりました。

業績ハイライト

最新のIR情報・IRニュースは当社ホームページをご覧ください。

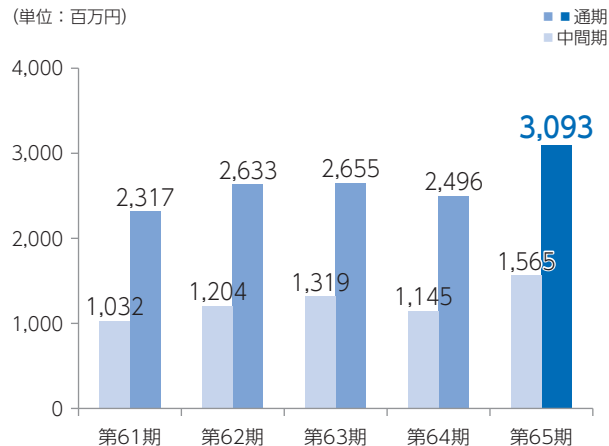
株式会社ヤマザキ IR



売上高

3,093百万円

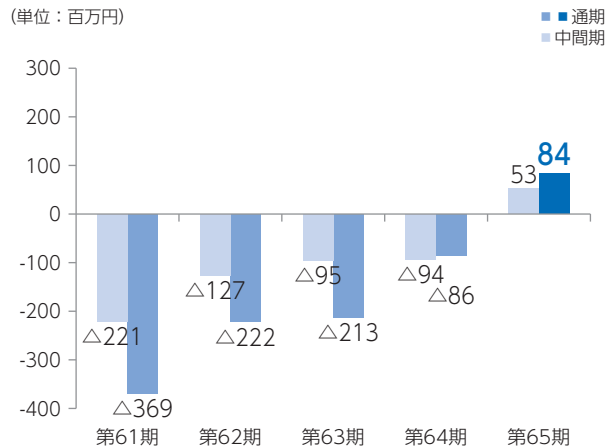
(単位：百万円)



経常利益又は経常損失(△)

84百万円

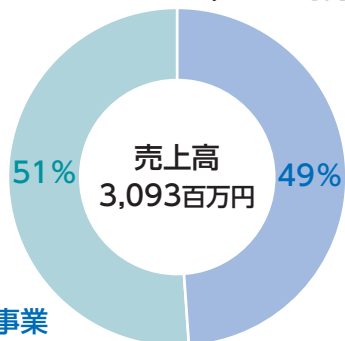
(単位：百万円)



売上高構成比

輸送用機器事業

1,520百万円



工作機械事業

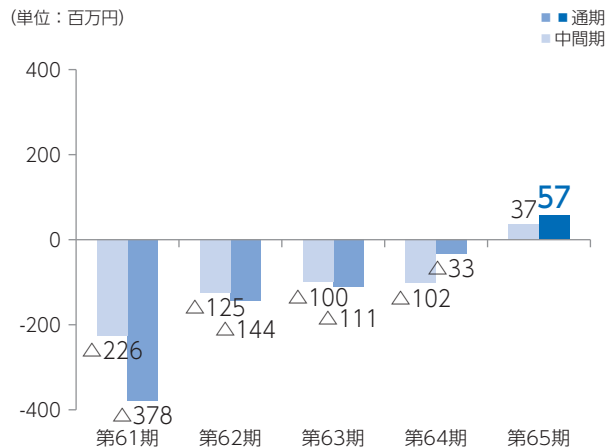
1,573百万円

(注) 上記売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

57百万円

(単位：百万円)



➤ 事業領域について

“精機”と“生産”のシナジー効果を活かした高い品質と生産性を具現化
広がるヤマザキの事業領域



< 精機事業と生産事業 > < 新たな事業展開への取り組み >

主力事業は、精機事業部門（工作機械製造）と生産事業部門（輸送用機器部品製造）の2部門で構成されています。

精機事業と生産事業の2つの機能を併せ持つことにより、他社にはない相互のフィードバックによるシナジー効果が生まれています。

- 半導体製造装置を受注、クリーンルームを設置し2024年5月以降
- 四輪自動車量産部品の製造販売を開始しており、全4ラインがフル
- 高精度研磨機を導入し、超精密加工へ挑戦中です。
- 水処理プラントの製造販売を開始し、地球環境に配慮しながら
- 2022年より作業環境を配慮し開発したロボットバリ取りシステム

製造販売中です。
稼働中です。

人々の豊かな暮らしに貢献を目指します。
『SDC（スーパーデバセセンター）』の販路拡大中です。

外国人材の活用状況

2024年 3月期 9名 → 2025年 3月期 13名（今後も増員予定）

CSR宣言

CSRを推進するにあたり、「コンプライアンス遵守」「地域とのコミュニケーション」「ワークライフバランスの推進」「環境保全への貢献」を重点課題として掲げています。

会社情報・株式の状況・株主メモ

会社情報 2025年3月31日現在

会社名 株式会社ヤマザキ
設立年月日 1960年（昭和35年）9月1日
本社所在地 〒431-3121 静岡県浜松市中央区有玉北町489-23
資本金 9億7,219万円
従業員数 318名（連結）

主要な事業所

テクニカルセンター 〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田4-4-3
（都田工場）
関東出張所 〒221-0021 神奈川県横浜市神奈川区
子安通3-341-1
九州営業所 〒800-0304 福岡県京都郡刈田町鳥越町1-2 201
富士営業所 〒416-0909 静岡県富士市松岡220-3
子会社 YAMAZAKI TECHNICAL VIETNAM CO.,LTD.
ベトナム社会主義共和国ハノイ市

事業内容

- 輸送用機器事業
MC/モーターサイクル部品、AM/オートモービル部品、半導体製造装置部品等
- 工作機械事業
インデックスマシン等各種専用工作機械及びボーリングヘッド等省力化設備ユニット、半導体製造装置等

株式に関する事項 2025年3月31日現在

発行可能株式総数 15,703,000株
発行済株式の総数 4,579,000株（うち自己株式 141,750株）
株主数 3,722名
大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
山崎好和	986	22.23
大同興産株式会社	685	15.44
眞栄会	418	9.42
株式会社静岡銀行	198	4.46
ヤマザキ従業員持株会	105	2.38
楽天証券株式会社	57	1.29
静岡キャピタル株式会社	41	0.92
株式会社電興社	40	0.90
杉浦金属株式会社	31	0.70
伊藤初美	30	0.68

（注）持株比率は、自己株式（141,750株）を控除して計算しております。

役員 2025年6月27日現在

代表取締役社長執行役員	山崎好和
取締役常務執行役員	川島浩孝
取締役常務執行役員	松本靖之
取締役上席執行役員	山本惣一
取締役上席執行役員	今場浩和
取締役上席執行役員	矢野哲哉
社外取締役	浅田和則
社外取締役	加藤敏純
取締役（監査等委員）	加藤勉
社外取締役（監査等委員）	伊藤博
社外取締役（監査等委員）	原道也

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
（定時株主総会で権利行使できるのは、毎年3月31日現在の最終株主名簿に記載された株主様とします。）
3月31日
9月30日
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ ホームページのご案内 ■

当社ホームページでは、決算短信をはじめとする最新IR情報をご覧いただけます。また、詳しい製品情報も掲載しております。



<https://www.yamazaki-iron.co.jp/>

株式会社ヤマザキ IR 検索

